



百年先の椎葉山構想 椎葉村森林・林業ビジョン

宮崎県椎葉村

環境林

針広混交林や広葉樹林

手入れが難しい林地や公益的機能（土壌保全・水源涵養など）が求められる林地は、人工林から誘導し、かつての椎葉の森林（もり）を取り戻します

経済林

手入れの行き届いた人工林

主伐し再造林の可能な林地は林業経営を循環させ、木材生産を通じて産業の柱として村の経済を支えます

伝統の循環農法「焼畑」



未来へつなぎたい森林（もり）を実現するための取り組み

椎葉村は日本三大秘境の一つであり、面積の94%が森林です。林業は「山師」と呼ばれる人々によって世代を超えて続けられ、村の重要な産業として栄えてきましたが、手入れがなされない森林の増加や担い手不足といった問題に直面しています。これらに取り組むため、椎葉村では「産業としての林業」と「環境面からとらえる森林づくり」との調和を図り、未来に残す森林づくりを進めるための「森林・林業ビジョン」を策定しました。

椎葉村森林・林業ビジョン（百年先の椎葉山構想）

主伐して再造林を行うことで経営を続けていくことのできる林地は「経済林」として引き続き循環させ、林業を活性化させます。手入れの行き届いていない林地や、今後手入れの見込みのない林地には広葉樹を増やして「環境林」へ転換し、かつて、どこでも見られた椎葉の森林を取り戻します。このような、**経済林と環境林（針広混交林及び広葉樹林）の調和**が取れた100年先の椎葉の森林の姿を目指して、多くの大切な人々と椎葉の森林を作り上げていくものです。

現状の問題点



再造林及び保育に関する問題



保育放置林の問題

共通する事項

アクションプラン（問題解決に向けた取り組み）

- ①造林を担う人材を創出する取り組み
- ②皆伐後の広葉樹林への転換
- ③皆伐困難地等における長期多間伐施業*による針広混交林への誘導
- ④自伐林家の育成・自伐型林家の創出
- ⑤災害に強い道づくりの取り組み
- ⑥林業六次産業の創出
- ⑦森林・環境教育や自然体験等の機会創出
- ⑧ビジョン推進体制の整備

※長期多間伐施業
皆伐を行わず、長期にわたり間伐を繰り返していく手法。

椎葉村森林・林業ビジョンの柱となる取り組み

森林所有者の意向に基づき、以下の取り組みを進めます。



経済林として管理されている林地

主伐・再造林・保育のサイクルを維持し、効率的で収益性の高い人工林を育成します

アクションプラン：①、⑥、⑦、⑧



管理が行き届いていない林地



皆伐困難地等で今後の管理が難しい林地

長期多間伐施業により、広葉樹と混交した森林へと誘導します

アクションプラン：③、④、⑤、⑥、⑦、⑧



再造林意欲が低い林地・山地災害リスクの高い林地等
皆伐後に広葉樹の稚樹を育成し、将来的に管理を必要としない林地へ転換します

アクションプラン：①、②、⑦、⑧



椎葉村 農林振興課

〒883-1601 宮崎県東臼杵郡椎葉村大字下福良1762-1
TEL (0982) 67-3111 (代) 3206 (直通)
FAX (0982) 67-2825

